

午後II試験

問1

問1では、データセンターのネットワークの検討を題材に、VXLANの概要とVTEPで行われる処理、VXLANでカプセル化されたIPパケットの転送方式、及びEVPNの概要と特徴について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1では、(1)cの正答率が低かった。VXLANはデータセンターのネットワークなどに採用される事例が少ない。また、VXLANのカプセル化は、VXLANを理解する上で重要な技術の一つである。是非知っておいてもらいたい。

設問2では、(1)e、(2)の正答率が低かった。OSPFは多くのネットワーク技術者にとって設計、構築及び運用など、様々な場面で必要とされる技術である。OSPFの仕組みや仕様を正しく理解してほしい。

設問3では、(3)ク、コの正答率がやや低かった。クとコの解答が逆であったり、VMのIPアドレスにしていたりする誤った解答が散見された。L3SW11及びL3SW31で行われる処理自体は複雑ではないので、本文をよく読んで正答を導き出すよう心掛けてもらいたい。

設問4では、(1)の正答率が低かった。設問2のOSPFと同様に、BGPも様々な場面で利用されている重要なネットワーク技術である。BGPについても理解を深めてほしい。

問2

問2では、電子メール（以下、メールという）を用いた製品サポートを題材に、メールによるなりすましを検知するための対策について出題した。正答率は全体として平均的であった。

設問1では、(2)の正答率が低かった。本問の構成のように、送信元が社内メールサーバYだけの場合、振分けの偏りを小さくするには、DNSキャッシュの生存時間を短くして、社内DNSサーバYに対する名前解決要求を頻繁に発生させる必要があることを理解してほしい。

設問3では、(3)の正答率が低かった。本問の構成では、メール中継サーバY1とY2がDKIM処理を行うことから、受信したメールに付与された電子署名が真正であれば、当該メールがY社のメールサーバから送信されたことが分かることを導き出してほしい。

設問4では、(3)及び(4)の正答率が低かった。(3)については、鍵の漏えい時に発生する影響を基に、影響の具体的な内容を導き出してほしい。(4)については、Z社から社外に送信されるメールは、DKIM処理を行う同じメール中継サーバZから送信される構成であることを基に、正答を導き出してほしい。